



Systematic Language Method

「喋れない」が「喋れる」になる
システムティックランゲージメソッド
～英語は「システム」で学ぶとうまくいく！～

MAIKO SAEKI

佐伯 麻衣子

『喋れない』が『喋れる』になる

システムティックランゲージ ジメソッド

～英語は『システム』で学ぶとうまくいく～

佐伯 麻衣子

Maiko Saeki

はじめに

私は日本語、英語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語、この全ての言語で問題なく読み書き会話ができます。

5か国語で
字幕なしで映画やテレビをみて、本を読んで、会話ができるのです。

それは、帰国子女だからとか、頭がいいからではなくて、**語学がうまくなるコツを私が無意識で理解していたからです。**

私がしていて、喋れない人がしていないことを徹底的に研究しました。
一〇〇〇人以上の生徒を見てきました。

そこでわかったのは、

喋れないから喋れるにするのは
実はすごく**簡単**な事だということ。

私が担当した生徒はみんな、楽しみながら、気が付けば喋れるようになっていたから。

しかし、

世の中は英語を学ぶ場所が五万とあって、
何千何万もの教材があって、
学校教育でも英語に力を入れて、

それでもなお英語が喋れない人たちが数え切れないほどいるのです。

もう、お金と時間の無駄は、もうやめにしませんか？

システマティックランゲージメソッド

私が見つけた『喋れない』が『喋れる』になる方法で、
英語を喋れるようになり、
そして、新しい時代を自由に生きる方法を手に入れましょう!!

目次

はじめに

1章 英語くらい喋れて当たり前

1. 日本は50年後には無くなっている
2. 英語くらい喋れて当たり前の世の中
3. 劇的に変わる生涯年収
4. 英語が出来ないと情報弱者
5. あなたは搾取されている

2章 なぜあなたは英語すら喋れないのか

1. そもそも外国語なんて必要？
2. 失敗するより黙り込む日本人
3. 学習法は百年間変わっていない
4. 完璧を求め過ぎ
5. 喋れるのは頭の良い人だけ？

3章 外国語はシステムで学べ！

1. システマティックランゲージメソッド
・システマティックランゲージメソッドを始めるにあたって
2. 正しい目標設定
3. 文法の骨格を見極める
4. インプット・アウトプット
5. ひきこもらない！

4章 外国語で人生を豊かにするために

1. 外国語の勉強は楽しくなくてはならない！
2. 常識を打ち破れ！
3. みっともないから必死になるな！
4. 良い人たれ！

あとがき

著者プロフィール

Facebookでいいね！を押しておくためになるおススメページ

1章 英語くらい喋れて当たり前

1. 日本は50年後には無くなっている

英語が喋れるかしゃべれないかはノアの箱舟に乗れるチケットを持っているか、いないかぐらいの違いがあります。

それはこれから50年で日本が滅びるから。

これから先、
日本の様な高齢化社会では確実に外国人の働き手が必要になります。

もし、TPPが批准されたりしたら、海外から人がなだれ込んでくるでしょう。

私は真剣に50年後に日本が無くなってもおかしくないと思っています。

少なくとも、今私たちが考えている『国』の形は
確実に変わってしまっているでしょう。

日本が滅びた時、日本から脱出して海外で生活していける、
そんな人だけが生き延びることができるんです。

コミュニケーション。

それは人間の生活とは切っても切れないものなのです。

そして、そのコミュニケーションのツールが

言語。

今の世界共通語は、英語です。

英語が喋れると、

他の国の人とでも心を通わせることができ可能性が高まるから、生き延びられる可能性が格段に上がるのです。

私は仕事柄、いろんな国の人と会う機会があります。
そして、色々な人と話したり、情報を読んだりしていると私たちが持っている「日本像」がいかに独りよがりなものか気づかされるのです。

インターネットの発達で、世界中からリアルタイムで、無料で情報が手に入ります。

この急速なグローバル化の中、世界中の中間層から上の人間は英語をツールとして使いこなし、情報を仕入れ、世界を知り、世界のスタンダードを体感し、自分の立ち位置を把握しています。

しかし、日本人は、自分たちの文化に埋没するあまり、先進国の中でも完全に浮いているのです。

自分たちが、世界一治安が良くて清潔な、おもてなしの国の住人だと思い込んでいますよね。

人間でおきかえてみましょう。

「私、おとなしくて、綺麗好きで、気が利いて、世界で一番素敵でしょ？」

自己評価高すぎて、突っ込みどころ満載ですよ？

実は、この自己評価を高くしておくことが、が民衆に頭を使わせない一番の方法なんです。

うぬぼれさせて、安心させて、何も考えないようにさせて、一部の人間だけが得をする構造。

日本の社会は停滞しています。

それは、皆さんも今感じていることだと思います。

それは、日本人が外から入ってくる情報にあまりにも無頓着で、誰が翻訳して、どこを經由して入ってくる情報か、全く気にしないことに一因があると思います。

誰が調理したか、どんな添加物や産地偽装があるかわからないものを食べているのと同じです。

日本人は井の中の蛙過ぎて、今の社会や世界情勢に全く危機感が無い。危機感が無いから、現状を変えようとし無い。興味も持たない。

それは、外からの情報を自分で集めることができず、自分たちの耳触りの良い情報ばかりが入ってきてしまうからです。

このままだと、近い将来日本は国として機能しなくなることでしょう。

だからこそ、世界中の情報に触れて、自分の頭で考えて、行動しなくてはいけない。

その時に必要不可欠なツールが英語なのです。

しかし、多くの日本人が英語を喋ることができません。これを読んでいるあなたも、少なからず英語で悩んでいるから、この本に興味をもったのではないですか？

日本人が英語を喋れない理由は二つあります。

ひとつは、英語が教育では無くて、むしろビジネスになっているから。

そして、もう一つは
「英語は難しい」
と、洗脳されてしまっているからです。

この洗脳はかなり強力で、
多くの人々のやる気を奪い、可能性を奪い、
まるで病原菌のように日本人の英語力を蝕んでいるのです。

だからまずは、

「英語は難しい」

という、この洗脳を解くことが重要なのです。

私が、あなたが植え付けられている

「英語は難しい」

という、洗脳を解いていきます。

英語を喋ることは笑っちゃうくらい簡単なんです。

洗脳が解けたら、

**「全然喋れないです」と言っていた人たちが
すぐ喋れるようになるんです。**

英語が喋れるか喋れないか。

沈んでゆく船と運命を共にするか、生き残るか。

英語を話すグローバルな人間になることは、

そのくらい重要なことなのです。

2. 英語くらい喋れて当たり前の世の中

色々な国の人が集まると、
それが飲み会であっても、国際会議であっても、
共通語は英語です。

もちろん、全員がネイティブなわけでもないですし、
英語圏に留学経験があるわけでもありません。

みんな義務教育の中で勉強する英語の知識で、会話をしているのです。

初めて日本に来る人は大抵
「日本がこんなにも英語が通じないとは思わなかった...。」
と、びっくりして、学校では何歳から英語を勉強するのか尋ねられます。

十三歳から、というとほとんどの国の人
「え！うちの国とおんなじなのに、そんなに喋れないの？」
と、さらに腰を抜かします。

日本人は例えばヨーロッパ言語の人たちは日本人と比べて、
文法やボキャブラリーの類似点が多いと言うアドバンテージがありますが、
それを差し引いても、日本人は英語を喋れません。

失敗を極端に恐れたり、
目立つことを嫌う国民性に原因があるのかもしれませんが、
ざっくり言うと、ほとんどの国の人
は、
大学卒業していれば英語くらいは喋れるのです。

他国の人たちが義務教育で英語を話せるようになっているのに
日本人がここまで英語が喋れないのは
日本の英語教育の失敗に原因があると判断して妥当だと思います。

だから、律儀に従来の勉強法を続けていたって、

全く意味が無いんです。

近年は、英語の通訳の仕事と言っても、
ネイティブではない人の通訳をすることも多々あります。

アジアではフィリピン・シンガポール・インド・インドネシア・香港...
特にここ数年はアフリカの英語圏の通訳も増えてきています。

みんながネイティブのように英語が喋れるわけではありません。
それぞれの言語のなまりがあって、文法も語彙も完ぺきではありません。
しかし、ビジネスレベルくらいの英語は喋れるのです。

以前に比べて、
留学して英語が喋れるようになった日本人は増えたと思います。

しかし、留学経験が無い人は全く英語を喋れないまま。
これでは日本が世界から取り残されていくのも、仕方がないですね。

2020年のオリンピック。
増える観光客。

私たちの生活に、外国人との接点が格段に増えてきています。

これから先、日本でも英語が喋れる人材がもっと必要になるでしょう。

今、英語が喋れるようにならないと、
日本の社会の中でも出遅れてしまいます。

逆に、まだまだ英語が喋れる人が少ない日本で
今、英語を習得すると、あなたは大きなアドバンテージを手にするのです。

3. 劇的に変わる生涯年収

英語が喋れる人と喋れない人では年収が大きく違います。

私が見てきた中では得に

専門分野+英語

の人は羽振りが良い人が多いです。

弁護士・医者・エンジニア・営業などの専門技術があっ
てなおかつ英語もできるというパターン。

単純に、英語ができるだけで、
派遣社員でもお給料がぐっと良くなります。

ブコの通訳なんかは、最低時給が約4000円。
普通のパートの人が一か月で稼ぐくらいの額は2、3日で稼げます。

さらに、今英語が喋れる人はまだまだ希少価値があります。

就職のときにも非常に有利であったり、
社内での昇進の条件にTOEICの点数が指定されている会社も多いです。

取り柄が無い人や、成績・実績がイマイチでも、
英語さえ喋れたら、自分の欠点を補えて、更に得ができるのです。

今までは、英語が喋れるのは留学したことのある人や、
親が海外に駐在していたとかの
お金持ちかエリート
といった選ばれた人たちだけだったので、

パンピーの私は英語なんておこがましい...

とってしまう人が未だに多いのですが、
英語の自由化はとっくのとうに始まっています。

スマートフォンを持つようになってから
留学するのと同じくらいの環境を作り上げられる条件を
日本に居ながらにして手に入れることができるようになっているのです。

多くの人はまだ気が付いていないので 仕掛けるなら確実に、今。

そして、英語が理解できると圧倒的に世界が広がります。

日本での当たり前が、世界では全く当たり前ではないことが見えてきます。

残業をすること。

結婚したら二人の名字を統一しなければいけないこと。

仕事中心にお酒を飲んではいけないこと。

それが当たり前じゃない国があるんです。

『当たり前』、『それが普通』の向こう側には数え切れないほどの選択肢が転がっています。

その、未知との遭遇があなたの凝り固まった頭をぶん殴ってくれるのです。

新しいこととの出会いは、あなたの大きなインスピレーションになって、
あなたの世界を変えてくれるのです。

広い視野を持っている人は選択肢が多いです。

その選択肢の多さが、これからの世界を生き抜いていくキーになると思います。

今はスーパーでも無人のレジを見かけるようになりました。

本屋に行かなくてもネットで本が手に入りますし、

無人タクシーがニュースの話題に上ったりします。

翻訳アプリも充実しているので、
言葉が通じなくても最低限のコミュニケーションを取ることが可能になりました。

これからの世の中、機械が人間の代わりにしてくれるので、確実に仕事が減っていきます。

しかし、社会全体を見まわしてみると、
あり方は変わっても、昔から変わらず、人は人無しには生きて行けません。

だから、人はSNSを使って人とつながろうとするし、常に居場所を求めています。

だからこそ、いかなるサービスもインタラクティブであることが重視されます。

人とのつながり、質の良いコミュニケーションがビジネスを左右するといっても過言ではありません。

質の良いコミュニケーションは、翻訳アプリではまだまだ難しいのはみなさんもお気づきですよ。

コミュニケーションはイントネーション、表情、声色など、その人の醸し出す全ての要素をひっくるめて判断して
何が言いたいのかをくみ取るものです。

機械にはその『行間』が読めないのです。

翻訳アプリの精度は上がってきています。

しかし、私たちが生きている間には、普通の人間に匹敵する翻訳アプリは現れないでしょう。

同じ言葉を話す、という事は、同じコミュニティーに属していることから仲間意識が生まれます。

意思の疎通ができるので、無条件にお互いに対する安心感を産みます。

海外で思わず日本語の喋れる怪しいおっちゃんのいる土産物屋でかいものをしてしまったりしますよね。

今、世界で最大のコミュニティーは英語を喋るコミュニティーです。

インドや中国がいくら人口が多いからといっても、やはり、英語を喋る人間のコミュニティーが人材・人数においても最強です。

もし、そうでないなら、わざわざ社内公用語を英語にしたりせずに、中国語やヒンディー語にしていますよね？

これから、グローバル化がさらに進みます。

グローバル化とはなんとなく耳障りはいいですが、

実際には激しい弱肉強食で経済格差が生まれ、今の日本のようにのほほんと暮らせなくなっていくでしょう。

そんな中、世界最大で最強のコミュニティーに入っておくことが人生を左右します。

英語が喋れるか喋れないかでどれだけ稼げるかが、ひいては人生のスケールが大きく変わってしまうのです。

4. 英語が出来ないと情報弱者

私は各国の新聞記事を読むのが趣味と言うか、日課なのですが、いつもおかしなことに気が付きます。

私は他の国から日本がどのように見られているかが気になるので日本をエゴサーチしたりします。

そうすると、日本で聞いたことの無いようなニュースが飛び出してくることもありますし、
ああ、これはやっぱりもう他の国では異様に聞こえるんだ...
と再確認させられるような記事を見つけることも少なくありません。

急速なグローバル化の中、日本人は英語が使えるばかりに世界から取り残されてしまっています。

東日本大震災、特に福島第一原発の事故についての報道は、日本で流れるニュースと、私が海外のニュースで見る内容と気持ちが悪いほどに違っていました。

原発で爆発があったこと、放射能が漏れていること
その状況が危機的であること...

日本政府は
大丈夫、大丈夫と言っていたのでかなりのタイムラグがありましたし、
普段はいち早く入ってくる翻訳記事も

皆無。

そして、日本のジャーナリズムも、鎖国時代から何も変わってはおらずお上の通達を伝えるためのもので

真実を伝えるためのものではないのだと、
あの時に日本のマスコミの限界も露呈しました。

時代は確実に変わっています。
情報はテレビやラジオで流されるものを受け取るだけの時代から
自分で手に入れる時代になってきています。

現代では、インターネットで世界中、
ものすごい量の情報が行きかっています。

その情報の洪水の中にと、
どの情報に信ぴょう性があるのか
誰の発信が面白いのか
この出来事についての意見はどこで割れるのか...
自然と情報リテラシーが付いてきて、
世界の中のスタンダードの感覚をなんとなく体得していくことができます。

日本語でも、もちろん情報は溢れています。
しかし、日本人は英語が喋れません。

なので、**外から入ってくる情報は一度、
誰かにコントロールされてからあなたに届いているのです。**

意図的に情報操作もできてしまいますよね。
事実、海外からの情報で、意図的に操作されている痕跡を見かけることが多々
あります。

英語とフランス語が理解できれば、
大抵の情報元をリサーチすることができるので、探してみると
たいてい一つのソースから情報がリリースされたことが分かるのですが、
日本に届くときには、
誰かが不必要だと判断した情報は消されているんです。

ご近所の国で、情報が完全にコントロールされている様子を見て
私たちは異様に感じますよね？

その情報コントロールと似たようなことが、もっと巧妙に行われているのです。

情報がコントロールされていることに私たちが気付いていないだけなのです。

それは、**英語がわからないから。**

例えば、特定の情報が日本に入らないようにしたかったら、
日本語に翻訳しなければいけません。

国民は、与えられた情報しか見ないので、
自分たちが騙されていることすら知りません。

ビジネスや社会問題、病気の治療においてもそうです。

今日本で私たちが悩んでいることの答えは
既に海外で誰かが、どこかの国が答えを出していることが多いです。

しかし、英語のわからない日本人は、知らない。
だから、国際社会ではみなが知っている回答を知らずに
同じ場所をぐるぐると回って悩み続けています。

医療一つとっても、日本は昔ながらで、

集団健康診断でバリウムを飲むのを経験された方は少なからずいると思います。

あれは、飲むときも、最中も、その後もしんどいですよね？

女性で出産された方、日本では普通分娩か、帝王切開ですよ？

私は陣痛が来てからすぐ生まれたのでそんなにしんどくなかったのですが、丸二日、とかそれ以上とかも聞きます。

あの痛みが長時間続くと、そりゃあしんどいです。

バリウムや陣痛、あのしんどさにひたすら耐えているのは先進国の中で日本だけです。

なぜ、他の国はしていないかというと、

バリウム検査は患者への負担が多く危険とされている報告があるし、内視鏡の方が効率よく胃がんを発見できるからです。

まだ、内視鏡ができる医師が少ないのと、多分バリウム業者が困るんでしょう。

私たちは危険な方法を取らされているのです。

無痛分娩も、特に大きなリスクは報告されておらず、痛みで苦しんだりパニックになるよりも、妊婦さんも赤ちゃんも楽な状態でお産が可能だからです。

無痛分娩は最近でこそ広がってきましたが、バリウムはまだまだ主流です。

私たちは、胃の検査には内視鏡、陣痛がしんどい時は麻酔、という選択肢があることも知らない人が多いのも事実です。

逆に、英語で調べたら、すぐに出てくる情報です。

ネットの世界には新しい情報がたくさん飛び交っています。食べ物でも、ダイエットでも、健康法でも、仕事術でも、

アメリカは新しいものがどんどん出てくるのに

日本には何年か遅れて、その中の1つか2つが入ってくるだけです。

新しい方法が入ってきてしまったりすると、
今利権を持っている人が困るのかもしれませんが。
ひょっとしたら政府の方針かもしれません。

これだけ、日本は新しい情報が入らない社会なのです。
情報が操作されている国なのです。

現代の日本は鎖国の時代となんら変わりが無いのです。

これだけ豊かな国で、日本は安泰だ。
そう思っていないませんか？

それは誰が言った意見ですか？
昼のワイドショーでのデーブ・スペクター情報ではありませんか？
信ぴょう性はありますか？

真実を知る一番良い方法は、外の意見と比べてみることです。

たくさんの情報と比べれば比べるほど
コントラストで真実が浮き出してきます。

そのためには
英語で最低限の情報収集をすることが必要不可欠です。

**騙され続けられないために
情報弱者にならないために
今の世の中では国際言語である英語が不可欠なのです。**

自分の手で生の情報を手に入れる技術を身に付けること。
そして、変化の激しい現代で
波を読んで、その波に乗っていくことが必要なのです。

5. あなたは搾取されている

それでは、英語で読み書き・会話ができるようになるにはどうしたらよいのでしょうか？

語学留学？

語学学校？

みなさんそれくらいしか思いつきませんか？

たしかに、インターネットもスマホも無かった時代は、語学留学するか、英会話学校に行くしかなかったのですが、今は海外の映像や音声、情報もリアルタイムで手に入ります。

生きた、質の良い教材が無料でいくらでも手に入ります。

時代は確実に変わっていったのに、多くの人は昔ながらの効果のない学習方法しか知らないのです。

語学留学は語学を自分のものにする非常に良い方法ですが、全く喋れないのに語学留学に行くのは費用対効果としてはあまりよくありません。

長期の休みを取って、何なら仕事を辞めて、非常に高い料金を払って、語学留学に行ったら

衝撃の事実に向き合うのです。

説明、全て英語...

事実、私は留学しても、授業についていけず、学校に行かなくなってしまった人や、結局喋れないまま帰っていった人をたくさん見ました。

語学留学は、最後の仕上げとして行くべきものです。
喋れなかった英語が留学したら急に喋れるようになるわけじゃないんです。

では、優しく一から教えてくれる英会話学校はどうでしょう？

英会話学校はビジネスです。
私も働いていたのでよく知っています。
教育でもボランティアでもないんです。

英会話学校は、何年も何年も
生徒に続けて受講してもらうことに意味があるのです。

なので、できることを褒めたたえるよりも、

「これが足りませんよ」
「あれも足りませんよ」

と、「できないこと」にフォーカスして、
不安感をあおって
続けて受講してもらうんです。

あなたの目標はこれだから、

会話のクラスもいるし、
TOEIC対策のクラスもいるし、
文法のクラスもいるし...

そうじゃない。

全ての項目の実力を効果的に上げる技能を持っている講師がいない。
シンプルにそれが問題なんです。
それに、したくても、できないんです。

大手英会話学校は、振替受講ができます。
万が一欠席しても、他の学校で同じ授業が受けられる、というサービス。

飛び込みで授業に参加しても生徒が困らないように、
同じクオリティーの、同じ内容の授業が提供できるように
授業のカリキュラムは細かく決められ、
例えば生徒が希望しても、
先に進むこともできないし、戻って繰り返すことも難しいし、
講師は自分の個性を一切生かせないし、
勝手な事が一切できないシステムになっているんです。

私たちは授業では無く、画一的なパフォーマンスをさせられるのです。

私は今まで語学を教えていて、一番早く上達する方法は
個人であっても、グループレッスンであっても
生徒の興味の赴くままに勉強し、
それぞれの生徒の弱い所や、問題点を補強していくことです。

そんななか、みんなで同じパフォーマンスを聞いて、
前から順番にテキストを進めていては、

あなたは、毎年何十万と言うお金を払いながら
永遠に「英語が喋れるんだ」と、思える日は来ないんです。

時代は確実に変わっています。

そして、英語の教材も、英語の勉強法も飽和状態です。
本屋に行けばいくらでも英語の本があるし、
インターネットで検索すれば数え切れないほどの教材が見つかります。
それでも日本人は相も変わらず英語が喋れない。

それは、

従来の日本の英語学習では英語が喋れるようにはならない

と、言う事実を証明しています。

あなたは、その理論上破たんしているビジネスに搾取され続けているのです。

英語が喋れないとヤバい未来が実はもう来ています。

あなたはそのまま、絶対に喋れるようにはならないことが証明されている選択肢の中から選び続けますか？

それとも、新しい時代の、新しいメソッドであなたの人生を豊かにするための英語と言う武器を手に入れますか？

2章 なぜあなたは英語すら喋れないのか

1. そもそも外国語なんて必要？

英語くらいは喋れるようになりたいと思うけど、
どれだけ勉強してみようとしても続かないし、
思い切って学校に行ってみても思うように喋れるようにはならないし、
何となくは喋れても、単語は出てこないし、聞き取れないし、
仕事で使うレベルには全然...。
ってというか、あんまり使う機会ないし。
外人の友達いないし。

これが大半の人の実情です。

そうですね、日本では別に英語が喋れないと困るわけでもないし、
就職のときもあればベターという程度で必須ではないですよね？

しかし、

英語が喋れないと困る未来がすぐそこまで来ています。

今現在、どうなっているのかよくわからないTPP。
私たちが知らない間に折衝が進んでいるようです。
日本の政府はやると言ったら民意など関係なくぶっこむので
確実にTPP条約は結ばれるでしょう。

TPP協定を結んだ国の間では、もちろん労働力も自由化されます。

そうすると、今よりもかなり多くの外国人が日本に働きに来ると思います。

そうすると何が起こるか。

あなたの職場に
全く日本語が喋れない外国人が雇用される可能性が非常に高くなるのです。

英語ができなくても生活できるし、

と、のんきなことを言っていたら、
あなたの生活はある日一変してしまうかもしれないのです。
デキる外国人に仕事を取られてしまうことだってあるかもしれません。

事務職だって、営業だって、肉体労働だって、コンビニのバイトだって、
弁護士だって、公務員だって、医者だって、
英語が喋れないと即戦力になれない、と言う日がやって来てしまうのです。

そんな時代が訪れてから
あわてて英会話学校の門をたたいたって、
あわててCDで英語を聞き流したって
すぐに英語が喋れるようにならなければ
あなたは時代に取り残されてしまうのです。

今からどんな変化にも対応できるように
準備しておかなければならないですよ。

そして、ただ、英語が喋れるようになるのではなく、
時代にあった英語の運用の方法を学ばなければいけません。

英語を従来のような学問ではなく、
ツールとして使いこなせなければ意味が無いのです。

英語＝学問

では、確実に時代に適応できません。

そして、日本の社会は既に飽和状態にあります。

これから先、このまま既存の職業にしがみついているままでは失業率は上がり、
パイの取り合いになって、社会は機能しなくなっていくでしょう。

2. 失敗するより黙り込む日本人

あなたは何が好きですか？

あなたの夢は何ですか？

今の政府についてどう思いますか？

どうすれば世界平和が実現できると思いますか？

この質問に答えるために、10秒以内に話始められますか？

答えられない人が多いと思います。

そして、何も言えなくて

「ああ、やっぱり英語が喋れない...。」

と落ち込んでしまうんですね。

沈黙であからさまに場が変な感じになってしまうので。

普通に傷つきますよね。

でもそれは、英語が喋れないんじゃないんです。

喋る内容を持っていないのです。

普段から喋る内容を考えていないからなんです。

それは、日本では自分の意見をズバッと言ってしまうことは

失礼だと考えているから、と言うのもあると思うし、

空気を読んでしまうがゆえに、

間違えた答えを言ってはいけないと思って

黙ってしまうのもあるかもしれません。

しかし、それは日本固有の文化であって、他の国、特に英語圏では

みんなと同じ意見のほうがいい

と言うわけでは無いことを理解しててください。

あなたの思っていることに正解も不正解もないんです。
自分の意見をしっかりとさえいばいいのです。
しまったかぶりもしなくていいです。

実は、答えはわからない、でもいいんです。
大切なのは会話のキャッチボールを止めないこと。

わからなければ、「わからない」とさえいばいいのです。

ただ、ずっと「わかんない」と合コンのギャルの様な事を言っていたら
面白くない人認定をされて終了です。
普段からアンテナを張って、知識を仕入れておくことは必要です。

「英語が喋れません」と、英会話学校の受付なんかで言うと、
レベルチェックテストを受けさせられて、

「ボキャブラリーが足りない」

とか

「文法の知識が足りない」

とか

「会話の練習が必要」

とか言われて、

あなたは散々なテスト結果を突きつけられて
徹底的に知識不足を徹底的にディスられて、

精神的にズタボロにされて、
正しい判断ができない状態で

何十万円もする高いコースを申し込まれるのです。

次の学期も
また次の学期も

まだできてない
まだ足りない

と、言われ続けて、英語の自尊心をすっかり傷つけられて、
魔の英会話学校ループにはまり込んでいくのです。

それは、
一つはそれが彼らのビジネスだから。
それがあいつらのやり方だから。

そして、もう一つは、この

「話す内容を持っていない」

という問題自体を知らないから教えられないのです。

カリキュラムで
「自分の意見の組み立て方」
なんて教えてくれる学校はありません。

これを読んでいる皆さんはラッキーです。
問題解決の大きなヒントを得られるのですから。

英語関係の本とかは結構目を通すけど
このことに触れている本は、私はまだみかけたことはありません。

では、具体的にどうすれば話す内容を持てるのか。

セルフプロデュースをしっかりすることでできるようになります。

英語を喋る時は別キャラになりきって喋るのです。

たまにいるけど、ルー大柴になる必要はないんですよ！

ダブルスタンダードな国際モードの自分を作るんです。

やはり、デキるネイティブの人たちと直接触れ合っ
て感覚が磨かれていくのかもしれないですが、

例えば、海外ドラマや映画の登場人物で

「こんな風になりたい！」

と思う人を一人ピックアップして下さい。

そして、

「○○ならこんなとき、どう言うかな？」

「○○ならどんな風に考えるかな？」

と言う風に一本、自分なりの軸を作ってみてください。

最初はものまねでいいんです。

だんだん、自分のものになっていきますから。

ちなみに、私はなりたい登場人物はその時々で変わるんですが、

今は「ダウントンアビー」というイギリスの超人気ドラマの主演の一人メアリーによく似ています。笑

シニカルで強情、気が強い
でもホントは繊細な貴族の三人姉妹の長女で
跡取りなので、20世紀初頭の女性ながらも
リーダーシップを持ち、次々と決断を下していく...
その上、美人なのでモテモテ。

私の元々の性格となりたいと部分との組み合わせで
何か決断をしなければいけない時、
バシッと言わなければいけない時に
メアリーモードになって、
彼女ならどういう判断を下すかな？とか想像してみたりします。

ダウントンアビーはすごく面白いドラマで
日本の大河ドラマのように時代考証が完璧にされているので
20世紀初頭のイギリスが忠実に再現されています。
歴史やファッションが好きな人に特におススメです。

あなたもなりたいキャラを見つけて下さい。

そして、ネット記事をぼーっと読み流すのではなく
この記事について聞かれたら、どう答えようかな？
と、考える癖を普段からつけてください。

何よりも自分で経験して、
時には失敗したり、
恥ずかしい思いをしたりして、
試行錯誤をして

オリジナルの国際モードの自分

を作っていけばいいんです。

私はキャラ設定を間違えて、すごく恥ずかしい思いをしたことがありますが
それもまた勉強になりました...。

そのお話はまた別の機会に...。

3. 学習法は百年間変わっていない

私は高校生の頃、英語の成績は
5段階評価中ずっと2でした。

テストの点数も35点とかそんなのばかり。

でも、ネイティブの先生の授業は楽しくて
毎日英語で日記を書いてイギリス人の先生に添削してもらって、
英語で資料集めをして、プレゼンをして
たどたどしいながら英語でコミュニケーションを取ることは可能でした。

日本人の英語の先生たちよりもよっぽど発音も良かったのに
なーんでこんな人たちに
英語苦手判定されなきゃいけないんだろうな...
と、不思議でした。

大人になって、英語を教えるようになって
テキストを改めて読んでみて、気が付いたのですが、
教科書で教えられているのは
英語についての知識、つまり

英語についての学問

であって、

コミュニケーションツールとしての英語ではないのです。

英語は言語です。
言語はコミュニケーションをするためのものです。

なので、コミュニケーションのために使わなければ
ただの腐った脳内データです。

日本で推奨されている教科書では
明治時代の洋学塾の英語の教科書とさして変わらない内容で、
今はこんな表現しないよね？という数十年前の英語のオンパレード。

その半古典英語にわざわざ難しい説明を加えて
英語への興味を削ぐように巧妙に設計されているのです！

まるで誰かの陰謀です。

そして、そのことに違和感を感じない、
生きた英語を喋っていない先生たちが教えたら

そりゃあもう、面白くない。

脳に入れる価値もない腐りデータなのです、

言語は時代によって変わる生もののコミュニケーションツール。

なのに、古典英語を詰め込まれ、

英語なんてシンプルなのに
難しいと思っているから難しく説明して、
余計にわかりにくくなって、
苦手意識を植え付けられて、

「英語は難しい、」

「英語が喋れるなんて秀才だけだ」

と洗脳される。

あなたは悪くない。
日本の英語教育が悪い。

あなたが理解しなければならないのは

英語は難しくない

という真実です

簡単だからこそ、世界の共通言語として定着しているんです。

難しく感じるのは、主に単語。

ただひたすら暗記しないといけないから。

でも、おかしくないですか？

学校や英会話教室で

全く興味ないジャンルの
面白くも無い文章読まされて
それで単語覚えなきゃいけないって
何の修行？

自分が使うものだけ覚えればいいんです。

今は時代にあったツールを使って、
時代にあった生きた英語を学んでいく必要があります。

その為には、
英語は図書館で紙の辞書をめくって勉強するものだ
と、思っている人から習ったって

無理なんです。

インターネットの発達のおかげで、私たちは日本に居ながらにして

以前とは比べ物にならないくらいの量の情報をリアルタイムで、
それも無料で手に入れられるようになっているのです。

それなのに、どんどん上がっていく英会話学校の学費。

ナンセンスだと思います。

私は一度習得したら自分一人教材を探して
半永久的に勉強し続けられる勉強法を伝授します。
一人一人、勉強の進み具合や、目的、興味のあること
全て違います。

グループで全員一緒の面白くない教材で勉強するのは非効率的なんです。

自分に必要な情報を自分で探し出す方法を学んでもらいます。

何より一番大切なのは
多様性を受け入れるメンタリティーです。

このメンタリティーは語学だけに限定されるものではないと思います。

私は大好きな人と、
大好きな事をやって、
大好きな場所で仕事をして生活できているのです。

多様性を受け入れると、あなたの人生が圧倒的に豊かになります。

学校や家庭の愚痴をこぼしながら仕事をしている人には
絶対に見えない世界をみなさんに見せることが
私にはできるんです。

4. 完璧を求め過ぎ

私の生徒で、ものすごく頑張って、
あまり喋れなかったのに半年で仕事で英語が不自由なく使えるくらい上達した
生徒がいました。

ある日その子が、

「仕事関係のインドの人の英語が全然分からなくて...。
この間、その人にも、もっと英語勉強しろって言われちゃって...。」

と、すごく悩んでいました。

そのインド人の喋っている動画がたまたま手に入ったのですが
私も何を言っているのかあまりわからず、
書き起こしてみると...

文法ぐちゃぐちゃ、ほとんど何を言っているのかわからない
意味不明な繰り返しとかもすごく多い...

その子は啞然としていました...。

「私の方がよっぽどちゃんと喋ってる...。
わからないのはこの人の英語が下手なせいじゃないですか！」

大正解！

世界規模で見ると

「あんた、それで英語喋れますって言っちゃうの、ハート強いよね...」

と、言う人レベルの人が、勢いだけで喋っている。
なんて、あるあるなんです。

それに引き換え律儀な日本人は

「ペラペラではない私が英語しゃべれるなんて言ったらおこがましい...。」

と、思っているのか、
事なかれ主義なのか、
逆にプライドが高いのか
まあまあ喋れる人でも頑なに

「喋れません」

と言っちゃう人が多いです。

もったいない。

その呪いの一言で、
あなたは自分の世界を広げるチャンスを棒に振っているんですよ！

私たちは日本人です。
日本の公用語が英語ではないことはみんな知っています。

誰も、あなたが英語をペラペラしゃべることを期待してはいません。
なので、完ぺきに喋る必要なんて全くないのです。

意思の疎通ができれば
コミュニケーションができればそれでいいのです！

そして、相手が英語のネイティブではない場合
あなただけの責任でないことは多々あります。

私が出会ったノンネイティブの人たちは自分では自信満々に
英語喋れます！と言いますし、実際めっちゃ喋ります。

ノンストップで喋り続けます。

でも、英語ヘッタクソだったりするんです。
本人の自信と勢いだけで喋り続けるんです。

それが良いか悪いかと言うと
自覚が無い故に成長が見られないのでよくないとは思いますが、

その都度改善できる点や、新しい単語を学んでいけるのであれば
完ぺきでなくてもいいんです。

私だってネイティブじゃありません。
間違える時だって、単語出てこない時だってあります。

「風の強い季節」

と訳したかったのに、ネイティブの人にチェックしてもらったら

「それは「おならの季節」になってしまうよ」
と、突っ込まれたこともありました。

冠詞、未だに迷います。
日本語には無いものなので正直難しいです。
完ぺきに使いこなしているかと言うと、正直自信は無いです。

RとLも発音する時や書くときにえ、どっち？と思うときもあります。

でも、私の英語はしっかり通じていますし、プロとして生計が立てられる程度
には喋れています。

私は仕事をしながら死ぬほど恥ずかしい失敗もし、
そこから死ぬほど学習してきました。

私と勉強すれば、私の失敗から学ぶことができる。

少なくとも、私と同じ轍は踏まなくて良いのです！

自分の間違いを教えることこそが、
生徒の理解を深めるためにできる一番大事な事だと思っています。

普通、外国語が喋れる人はプライド高いから、
自分の失敗なんてあまりさらさないのだけど。

メルマガでは
私の色々な経験談もお話していきます。

そして、オンラインサロンの案内もメルマガでお伝えしますが、
オンラインサロンでは課題を出したり、質問にお答えしたりしていきます。
是非登録して下さい。

[無料メルマガ登録](#)

5. 喋れるのは頭の良い人だけ？

コミュニケーションをするためには

「読む」「聞く」＝インプット

「読む」「書く」＝アウトプット

この4つがバランスよくできることが必要です。

喋るだけ、も良いのですが、それだけだとやはり成長が止まってしまうのです。

それはこの4つがお互いに影響しあって、刺激し合って、英語が上達していくのです。

子どもがどういう風に言葉を学んでいくか、知っていますか？

まず、大人のまねをして話し始めます。

それから、だんだん長い文章を作れるようになり、文字を覚えます。

文字を覚えたら、読み書きができるようになります。

私たちは大人です。

子どものように学習することは難しいです。

なぜなら、私たちの頭の中で既に母国語が出来上がってしまっているからです。

その母国語が徹底的に外国語学習を邪魔するのです。

なので、聞き流すだけで英語が上達することはほぼ不可能に近いと思います。

ちなみに、私自身、自分で実験してみたことがあるのですがアラビア語を50時間聞き流したことがありましたがさっぱりでした。笑

子どもがやっているように大人の喋っている言葉を徹底的にまねして、取捨選択して、理屈ではなく文法を理解する、というのは無理なんです。

だって、私たちだって、日本語の文法を詳しく説明できますか？子供の頃に理屈抜きに吸収してしまったものなので、説明できないですね。

だから、大人が外国語を勉強する時は、文法を習得することが不可欠なのです。大人の脳みそは理屈で納得するしか学習できないくらい硬くなっているんです。

では、膨大な量がある英語の文法を全て習得できるような頭の良い人しか英語が喋れるようにならないのでしょうか？

そうではありません。

ルールを知らないと、他の人とスポーツを楽しむことができないように外国語にもルールがあります。

それが文法です。

例えばサッカーなら、いろいろな細かいルールがありますが、手でボールを触っちゃいけない、ゴールにボールが入れば1点というのさえ理解していけば、結構楽しめますよね？

それと同じで、ベースの一番単純な文法だけおさえてしまえば

それでかなり活用が可能なのです。

これは、後の章で細かく説明しますが、
非常にコンパクトな、学校で習った誰でも知っている

外国語のシステム

さえ理解したら大丈夫なのです。

世の英語の先生、英会話の先生は
さも英語が難しそうに言います。

確かに奥は深いです。でも、決して難しくはないです。

私は高校の時の成績なんて英語2だったくらいなんですから
頭がそんなにいいわけじゃないのはバレてしまいますよね...笑

語学が得意だってそれは

走るのが早い
料理が上手
絵が上手
体が柔らかい

と、並列なんです。

だって、子供だってできるんですから！

頭の良し悪しなんて、関係ないんです。

高校の時の先生に
英語もフランス語も喋れるようになりたい、

と言ったらそんな人会ったことない、日本人には無理だよ、と言われてました。

私は今、日本語・英語・フランス語・ポルトガル語・スペイン語の五か国語が喋れます。

必要だったのは
好奇心と
英語が喋りたいという気持ちと
実際に喋ってみる勇気。

他の人の4倍、外国語を勉強して、行き詰まったり、苦勞したりしてきました。

プロの通訳・翻訳家・国際ビジネスプロモーターである以前に
プロの外国語の生徒なんです!!

私は外英語が喋れなくて、
ダイエットのように色々試して、でも効果が出なくて、という
彷徨える英語ジプシーたちをゴールに連れて行く道を知っています。

私は4回、その道を通っているんで。
4回も通った人、日本人ならあんまりいないよね。

3章 外国語はシステムで学べ！

1. システマティックランゲージメソッド

私は今まで1000人以上の英語をこじらせている人を見てきました。
そして、そのほぼ全員の原因が

英語をあまりにも難しいものとしてとらえていることでした。

英語でも日本語でも、言語とは奥が深いものです。
そこが外国語を学ぶ楽しみでもありますし、
達成感や、喜びにつながるものです。

しかし、その奥の深さを敷居の高さにしてしまっただけではいけないのです。

例えば写真を取る一つとっても、日常の記録からアートまで
幅が広いですね。

雑誌や書籍の数からみても、
写真の世界の奥深さは想像するに難くないと思います。

でも、多くの方はスマホのカメラで十分に楽しんでいますよね。

同じように、英語の奥深さは、敷居の高さにはならないんです。

スマホのカメラのようにカジュアルに使える英語を使う方法、それが

システマティックランゲージメソッド

です。

どれだけ長い文章でも、どんなに複雑な内容でも、
分解していけば全て、基本の文法が一番奥にあります。

基本文法が、いわば英語を動かすシステムになんです。

このシステムに、あなたがよく使う単語を当てはめればいいだけです。
その英語で、十分に通じるのです。
こじらせちゃいけないんです、シンプルに、シンプルに。

今まで英語が難しかったのは、

文法を全て並列に、横から見ているからなんです。

横から見ているから、他の文法との関連も分からないし、
一つ一つをただただ覚えて行くしか仕方なくなってしまうんです。
システムを理解すると、文法を俯瞰的に見ることができます。

そうすると、文法同士の繋がりがしっかり見えて、
読み書き・会話のコミュニケーションが格段に簡単になります。

実際に、私も友人との会話やメールでは
そんなに複雑な文法を使ったりしませんし、
ネイティブの友達だってそうです。

日本語でだって、親や友達に、凄く難解な文章とかおくりませんよね。
英語を喋る人だって同じです。
人間だもの。

また別の機会にお話しますが、実は単語や発音にだってシステムがあるんです。

つまり、システムティックランゲージメソッドを使うと、
文法だけではなく、
語彙や、発音だって簡単に習得することができるし、
知らない単語に出会った時だって大体意味が分かるし、発音もできます。

私は、外国語の解剖を色々な言語で繰り返していますので、
私が話せるヨーロッパ言語内での共通点をたくさん知っています。
システムの違いを理解する事で、他の言語の習得もかなり簡単になります。
シンプルに言語の根本のところだけを見たのがこの、
システムティックランゲージメソッドなのです。

・ システマティックランゲージメソッドを始めるにあたって

システマティックランゲージメソッドを始めるにあたって準備してほしいものがあります。

まず、英語をシステムで勉強するプラットフォームを作ります。

スマートフォンかタブレット。
そこに辞書アプリをダウンロードしてください。

個人的には有料の辞書をお薦めします。
ここはきちんと投資して、有料の英和・和英辞書を買ってください。

辞書であなたの内容の質が変わると言っても過言ではないので。

無料の辞書でも、良いものが出ていますが、
有料のものに比べると機能も少ないですし、
無料辞書の多くは日本語訳のみが羅列されているだけで、
発音・文法・例文まできっちり説明してくれているものは少ないです。

そして、日本で出版されている辞書のクオリティーはかなり高いです。
なので、逆にどこの誰が作った者かわからない辞書を使うことは
おすすりできません。

繰り返して辞書を使うことで単語を自然と覚えることができるので、
情報の多い有料の辞書で、
関連事項や他の単語への寄り道が英語の習得に凄く大事なのです!!

有料の辞書ではマーカー機能や、履歴機能があり便利なので、
単語の習得も早くなります。

ちなみに私は、2500円ほどの辞書アプリを購入して、愛用しています。

その次に、Facebookのアカウントを作り、私が巻末に挙げるページにいいね！をして下さい。

あなたが好きな海外のアーティストや映画、作家のページにもいいね！をして下さい。

これで準備完了です。

いいね、を押したページから色々なニュースや情報が流れてくると思います。

その中から自分が好きな記事を選んで、辞書を見ながら、システムティックランゲージメソッドの基本的な公式に当てはめて、読んでいってください。

それがまず、英語に慣れる一番良い方法。

興味が無いのに与えられたテキストを無理に読む必要なんてないんです。自分の好きなもの・興味のあるものを自分で探して読むだけです。

いつまでも受け身の勉強を卒業して、Facebookを上手に使って、英語が生活の一部になるように仕組んでしまいましょう。

Facebookを使う利点は、あなたが好きそうなものを表示してくれるところ。

世界がぐっと広がります。

辞書と自分が興味を持ってしまふ、思わず内容が知りたくなってしまう情報に簡単にアクセスできる環境を作りましょう。

自分が好きな事や興味を持てることから勉強を始めるのが一番の近道です。

自分が興味を持ってない教科書の説明文を読んだって
苦痛だけで何も頭に入ってきません。

英語だけに限らず、自分が苦手なことにフォーカスするのではなく、
自分が好きな事を集中的にやったほうが結果を早く出せると思います。

しかし、上達するには、筋トレと同じ、少しの負荷が必要です。

少しの負荷も、好きな事なら頑張れる。
この良いサイクルを作っていきましょう。

随時[メルマガ](#)でご案内しますが、
Facebookの秘密のグループページで人数限定・期間限定で
英語を楽しむ空間、オンラインサロンを開設します。
苦痛に満ちた英語学習とは違う、知的興奮に溢れた社交場「サロン」です。

課題添削や個人カウンセリングなど、
サロンメンバーの英語学習を私が直接サポートできる場所です。
「喋れない」を「喋れる」に変えたい人、
英語を仕事にしたい人
今から英語を始めようと思っている人は是非、参加して下さい。

2. 正しい目標設定

システムティックランゲージメソッドの一番最初のステップは目標設定です。

英語の勉強が続かない一番の理由は、間違えた目標設定です。

よく、

「TOEIC700点取るのが目標です！」

「海外に住むことが目標です！」

「英語しゃべれたらカッコいいかな、と思って！」

と、言った目標を聞くのですが、続かない方が多いです。
何が問題かわかりますか？

実は、TOEICで良い点数を取ることや、海外に住むことは目標ではなくて、通過地点なんです。

TOEICで良い点数を取って、どうするか。

海外に住んで、何をするか。

英語しゃべれてカッコよく見せて、何をするか。

最終目的が欠けているのです。

最終目的地を知らずにマラソンに出発するなんて、
無謀すぎると思いませんか？

英語を勉強して、どんな自分になりたいですか？

英語を使って、何をしたいですか？

なりたい自分、やりたいことを実現するためには何が必要ですか？

しっかり逆算してみてください。

そして、最短距離を探してみてください。
夢だって、遠回りするより早く実現できる方がいいですよね？

その最短距離の中で、英語がどういう風に生きてくるのか
英語が喋れることによってどう変わってくるのか
ひよっとすると、あれ？英語必要ないじゃん、ってなるかもしれません。

自分の人生と言うスケールで考えて、
そこに英語をどう絡めるか、考えてみてください。

私の場合はずっと外国語を仕事にしたいと思っていました。

イギリス、フランス、スペインでブラブラした後日本に帰って来て、
これだけ外国語が喋れたら何か仕事が見つかるだろうと思っていました。

現実はその甘くありませんでした。

私の外国語のレベルでは仕事につくには足りないと言われ、
私には仕事の実績が無いからと書類審査で落とされ、

派遣で英文事務の仕事に行きましたが、
オフィスで、ねちねちした日本人社会の中、
尚且つ私は雑でガサツな人間なので、貿易事務とかの細かい仕事が全くできない。

そして致命的な欠点が、ルーティーンワークというか、
ルーティーン生活が無理...

朝起きて仕事に行くという、普通の人間ならできることができないのです...

そう、私は今でも外国語以外何もできない社会不適合のダメ人間なのです。

一度は諦めて、
外国語なんて全く関係ない営業の仕事をしていました。

しかし、縁が切れない愛人の元に通うがごとく、通訳の学校に行ったり、語学関係の資格を取ったりはしていました。

もがき続ければ、チャンスはやってきます。

ターニングポイントは二つありました。
知り合いの外国人の未成年の息子が警察のお世話になり、家庭裁判所に呼び出されているからついてきてほしい、と言われ、軽い気持ちで行って初めて、法廷通訳を見たのですが...

通訳は私よりもずっとスペイン語が下手な人でした。

私も完ぺきを求めすぎていて、
色々なところで私の語学力と経験では仕事は無いと
自尊心もズタボロになっていたのですが、
自分より英語が下手なプロ通訳さんに勇気をもらったんです。笑

調べてみたら、警察、検察、入国管理局、裁判所は通訳の登録を受け付けているとのこと。

前部登録したら、フリーの通訳でなんとか生活できるかも、とぼんやり思うようになりました。

その後、当時、趣味だと割り切って通っていた通訳学校で
東京で開催される
IMFと世界銀行の会議のアルバイトスタッフ募集をしていました。
週明けにはリフレッシュ休暇の申請をしていました。

一週間、毎日睡眠時間3時間で、色々な国の人の通訳をして、

「やっぱり私にはこれしかない。」

と、思い、退職を決意しました。

通訳になるのは簡単でした。
自分で通訳になると宣言したら、その日からあなたは通訳なのです。

次に私は、どうしたら通訳で生計が立てられるのかを考えました。

一番の近道は、技術の高い、経験の豊富な通訳になること。

どんな仕事でも、どんなに安い仕事でも片っ端からやりました。

そして、夜や通訳の仕事の無い日は外国語スクールを何個も掛け持ちして、お知ることで自分の知識の整理をしていました。

毎月、自分の4か国語のレッスンに加え、元アナウンサーの先生の所に通って日本語も磨き、外国人と接する機会が多いので少しでも印象をよくするために歯列矯正をし、ジムで体を絞りました。

3年間ほど、毎日睡眠時間は2、3時間でした。

しかし、通訳の仕事の絶対量は非常に少ないです。

私は4つの外国語が喋れたので、チャンスは人より多かったのですが、それでも少ないパイの取り合いで、通訳で生計を立てるのがいかに難しいか痛感しました。

そして、他の通訳のように、仕事をもらうだけではなく、自分で仕事を生み出す力が必要だと気が付きました。

子どもを産んでからは、自分を取り巻く環境や社会にも興味をもつようになり、世の中を少しでも良くできるように頑張っている色々な有名人の方の活動を世界に向けて発信する活動をしています。

経験なし、実力なしだった私が自分の立っているスタート地点を確認して、ゴールをきっちり設定し、

さらに、ポイントポイントで立ち止まって新しいゴールとそこに到達するまでの戦略を考えたから

何が必要なのかははっきり見えるようになるのです。

そして、とにかく行動すること。

私は自分で、「走りながら考える」と、言っているのですが、考えているだけでは、実際考えているようにできるのかもわからないし、やってみて考えていたのと少し違う、ということがほとんどです。

何にせよ、走り出さないと前に進めないですよ。

とにかく、自分の現在地を知ること。

一見矛盾しているように聞こえるかもしれませんが、私は目標設定の現在地を知るツールとしてTOEICなどの検定を受けてもらうことを勧めています。

TOEICで良い点数を取ってもらうためではなくて、失敗したり、悔しい思いをして、自分の現状を知ってもらうためです。

いつまでも居心地の良い場所にいると、成長が止まってしまうので。

「TOEICでいい点数を取ろう！」

と、どの学校もどの先生も謳っているけれども、私は、それがそもそも間違えていると思うんです。

私は、私の教えてきた生徒たちみんなに、本気で英語を勉強するんだったら、とにかく検定を受けて、自分の英語に足りないところをしっかり見つめてとにかく悔しい思いをしてそれをモチベーションに変えて頑張ってもらいたい、と言っています。

TOEICなんて、英検なんて、
いい点数を取るものじゃない。
自分の現在地を知るためのものなんです。

もちろん、

- ・昇進がかかっている
- ・就職がかかっている

というならテクニックを使って
少しでも点数を多くとるところに注力することも必要です。

しかし、それと同時に
検定試験の目標は
良い点数を取るだけでなく、
自分の英語のレベルを上げるために必要なのは何かを正確に知る事です。

試験・検定を受けるのは語学力の健康診断の様な物。
悪い所や苦手なところが無いかチェックするんです。

点数のその先にある、なりたい自分を見てみてください。

自分が何をしたいのか、
どういう人間になりたいのか、
しっかり逆算してみてください。

そして、最短距離を探してみてください。

その最短距離の中で、英語がどういう風に生きてくるのか
英語が喋れることによってどう変わってくるのか
考えてみるとワクワクしませんか？

そのワクワクが、勉強の原動力になるのです。

あなたも、ワクワクできる自分の未来を想像して
それを逆算して、戦略を練って下さい。

どんな夢でも、実現不可能だと思えても
ワクワクできるのであればその夢は絶対に叶うから。

3. 文法の骨格を見極める

さて、システムティックランゲージメソッドの核となるお話。

英語を頑張ってきた人にこそありがちなんですが

「先生、これは副詞節ですか？形容詞節ですか？」

などという質問、あなたもしていませんか？

あなたは日本語で読み書き・会話をするときに

「よし、これは他動詞だから助詞は「を」を使おう。」

「うん、これは下二段活用の連体形だな。」

とか、考えたこと、ありますか？

ないですよね？

細かい文法のごことは、今は忘れてください。

今回の目的は、とりあえず喋れるようになること！

私は通訳ですし、日本語を喋らない友人の方が多いくらいなので、
365日外国語を喋っています。

私は翻訳家でもあるので、文章を研究し尽くす機会が多くあります。

そこで気が付いたのは、

どんな文章でも、装飾を取り払って丸裸にすると、
骨格の部分は

①普通文

②疑問文

③命令文

になるんです。

つまり、

この3つの中から、自分が作ろうとしている文章はどれに当たるのかを考えて下さい。

①普通文

主語＋動詞＋その他の要素

一番オーソドックスなタイプの文ですね。

喋る時にもこれが基本中の基本です。

読むときも、一番に必要なのは主語と動詞の判別です。

②疑問文は2種類あります。

■YesかNoで答えてほしい質問

- ・ **Be動詞の時は普通文の主語と動詞の位置を交換するだけ。**

例：Are you Hungry?

- ・ **Be動詞ではない動詞のときはDo活用＋主語＋動詞の原型＋その他**

例:Do you like Chocolate?

■答えがYesかNoではない質問

前出の疑問文2つの形の前に疑問詞

How, Who, When, Where, Why, Whatをつけるだけ!!

③命令文

これは正直、会話で使うこともありません。

例えば、Do that! は

「やれ！」みたいにかなりアグレッシブに聞こえてしまうので

何かお願いをする時は

Could you please + 動詞の原型 + その他の要素

～していただけませんか？を覚えておきましょう。当面は全部これでいいです。

例: Could you please bring me a cup of water?

とりあえず、これだけあれば、あとは今ある英語の知識をフル動員すると、会話はできます。

えー？ほんとにこれだけで大丈夫？絶対通じないよ～。

とかいうあなた。

あなたは無理ですよ。喋れません。絶対に無理です。

だって、屁理屈こねて、絶対行動しないもん。

私の過去の生徒の中でも、一番伸びたグループは、とりあえずいいと言われたことは信じてやってみた生徒たちです。

外国語に関わらず、何事も身に付けるには

実際に、とにかく言われたようにやってみて、

「あ、できた」、「これできなかった」を繰り返して、

自分で感覚をつかんで習得していくものなのです。

あ、この勉強法私には向いてなかった、と思うならさっさとやめたらいいんです。

そんな疑いながらの逆プラシーボ状態で、英語が上達するはずは絶対はないんですから。

文法が不必要だとは一言も言いません。
むしろめっちゃくちゃ必要です。

しかし、例えばゴルフのスイングの理論を座学でいくら勉強したって実際にボールを打って練習しないと上手にボールが打てるようになるはずがありません。

それと同じで、とりあえずゴルフ始めるにあたって、この3本のクラブは絶対にいるよ、

といったたぐいのアドバイスなので、

とりあえず、シンプルに、シンプルに、考えて、
独り言からでもいいです。

声に出してみて下さい。

町で困っている観光客に声をかけてみてあげて下さい。

海外旅行に行ってみて下さい。

ホームステイの外国人を受け入れてみて下さい。

英語はこの①②③に当てはめるだけで話せます。

どれだけ複雑な文章になっても、
ほどいていくとこの法則に行き着きます。

言語なのでもちろん、色々な方法で幅を出すことはできます。

文学的な表現だったり、学術的な表現だったり、
イレギュラーはもちろんあります。

文法も、細かい表現をしたくなって、自然と興味が出てくると思います。

各フェーズで必要なノウハウは
これからオンラインサロンやセミナーなどでお話していきます。

なので、今回はこの英語の3つの骨格を一度頭に入れて下さい。

それだけで、あとは動詞を活用させて、
必要な単語を当てはめるだけで
もう伝わる文章が出来上がっています。

もちろん、細かい文法や、豊富なボキャブラリーは
あなたの英語の画素数を上げるのにとっても役立ちます。

それは、あなたが必要を感じた時点で少しずつ増やしていけばいいのです。

今すぐ必要ない知識をいくら増やしてもしんどいだけです。

まず必要なのは、まず、最初の一步を踏み出すこと。

シンプルな文章で、シンプルな単語でいいんです。

人生も
恋愛も

英語も

こじらせないことが一番大事！

4. インプット・アウトプット

私は日本のほかに
英語・フランス語・スペイン語・ポルトガル語が喋れるのですが

全く喋れないところからペラペラになるまでを4回経験しているんです。
でも、簡単な日常会話なら3か月あれば喋れるようになっていました。

私の経験では
文法や単語の情報が頭の中に入って来て、
読んで、書いて、練習して
ある日それが溢れ出して、少しずつ喋れるようになります。

まず、インプットを最初にして、
次にアウトプットに少しずつ慣れていきます。

実は日本人のほとんどの人は既に
文法や単語の基礎を十分に理解しているので、
インプットのプロセスは
いきなり読み始めるのがいいと思います。

Facebookの投稿で文字数の少ないものをピックアップして、
どれだけ辞書を使ってもいいです。

辞書を使いながらどんどん読んでいってください。
とにかく、最後まで読むことを繰り返してください。

少しずつ長い文章が読めるようになって来たら
新聞の記事なども読めるようになり、
積極的に情報を集めることができるようになります。

そして、アウトプットに入ります。

そして、オンラインサロンで課題を出しますので、

それで練習してもらってもいいですし、
例えば好きな海外アーティストのページにコメントを書きこんでみたりするのもいいですね。

他の人の書き込みを見るのもとても参考になります。

こんな風に書きたいんですけど、これで通じますか？
と、オンラインサロンで質問してもらってもいいです。

次に、会話です。

会話は相手がいることなので、

「間違えたら嫌だな」とか
「ちゃんと通じるかな」

と緊張したりしてしまう人が多いと思います。

なので、私がよくやるのは、
話したいことをまずは一人で練習することです。

そうすると、あ、この発音苦手だな、とか、
あ、この単語知らないな、とか、
大事なことに気が付きます。

一番大切なのは、
とりあえず声に出すこと!!

頭の中で考えているだけでは意味がないです。
アイデアがあっても実行しなければ、何もしていないのと同じです。

一人なので、恥ずかしがる必要はありません。
何回繰り返したっていいんです。

しっかり、相手と話しているつもりで、
実際に声に出して練習して下さい。

そのサロンではその独り言を音声ファイルにして送ってもらって、
発音や会話のポイントなどをフィードバックします。

ちなみに、私は犬の散歩をするときに、
まあまあ大きな声で喋りながら歩いているので
近所の人に完全に変な人だと思われています…。

5. ひきこもらない！

外国語の勉強は概して孤独なものにうっかりなりがちです。

一人で文法問題解いて、単語覚えて、宿題やって...

私も自分でただひたすら頑張る時期が続いて、
本当に孤独で心身ともにキツかった記憶があります。

そして、やはり一人だけで勉強していたら、周りが見えなくなって、
自分が世界で一番努力しているような気持ちになって、
非常にテングになっていた時期もございました。

ゴメンナサイ。

周りに目標や、ちゃんと意識を持った仲間がいたら
もっとたくさん情報も入ってきたら
もっと早く、スムーズに勉強ができたかもしれない、と思います。

そんな気持ちもあって、オンラインサロンを作ることにしました。

他の人の間違いから学ぶことは本当に多いし、
他の人が一生懸命勉強しているのを見て、
自分も頑張らなきゃいけないと励みになったり、
自分だけができるんじゃないんだと反省したり...

それに、今まで1000人以上の生徒に教えてきて、
多くの方が挫折してしまう原因は
仕事が忙しくて学校までレッスンに来れない。遠い。

オンラインでなら、移動中の隙間の時間に勉強することができるので、
挫折させません。

私もサポートします。結構厳しいですよ!!

さらに私も一人しかいません。
人数限定にもなってしまいますが、
出来るだけ多くの生徒さんに質を落とさず、私のメソッドを伝えられるしくみ
になっています。

さらに、同じ、

英語を喋れるようになる！

という目的を持った人たちと横のつながりを作ることが
とても大事だと思います。

そこで、じゃあ今度一緒に海外旅行に行けたり、
とか
好きなアーティストの情報交換できたりとか

英語はやはりコミュニケーションなので
やはり人と人とのつながりが活力になるんです。

良い刺激、良いライバル、良いチームメイトを得ることで、
モチベーションもきーぷできます。

コミュニティーってやはり大事なんですよ。
付き合う人が変わると影響されて、
今まで自分が興味も持たなかったことを教えてもらって面白かったり...

同じ日本人同士でも多様性を受け入れる良い機会になると思います。

私もこれからそういったコミュニティーを作っていきますので
もし機会があったら参加してくださいね。

4章 外国語で人生を豊かにするために

1. 外国語の勉強は楽しくなくてはならない！

多くの人が英語が上達しない原因の一つは、

受け身の姿勢

にあると思うのです。

場所だけ決めて、高い授業料を払って、
すごく攻めた気になっている人が多いのですが、

それは違います。
考えることから逃げているだけです。

どのような教材を使って、どのような先生から、何を学ぶのか、
まるっとお任せしてしまっているのですから。

自分が何をしたいのか、どういったことを勉強したいのか、
どのような勉強がしたいのかは
本来は自分で考えるべきものなのです。

先生は、あなたに道を示す人指導者ではないのです。
あくまで、あなたが行きたい方向に行くために助言する案内人なのです。

指導者の人についていってしまうから、結局勉強がつまらなくなり、
これ以上続けても意味が無いなと思ってやめてしまう人が多いのです。

それは、ずっとテレビを見ている人と同じ。

与えられる情報だけだと飽きてしまうのが人間ですし、
与えられることによって、目の前の課題をこなすことだけに集中してしまい、

自分が何のために英語を勉強しているのか、わからなくなってしまうのです。

頭を使う練習をしていないので、結局考える力もつかないから、
いざネイティブの人と話をしたときに、
話す内容を考える瞬発力がなくなってしまうのです。

これが、英語が楽しくなくなってしまう悪循環です。

私は、正直、外国語を「勉強」したと言う感覚が一度もありません。

必要だから、調べる。
知りたいから、調べる。
調べたことを喋りたいから、練習する。
悔しかったから、できなかったことをできるようにする。

毎回、知的興奮や、達成感を感じるので、凄く楽しいです、

通訳になる前、通訳一年目は、
毎月15万くらいかけて勉強していましたが、
今は全くコストをかけず、自分一人でブラッシュアップし続けています。

それは、楽しくて、遊び続けている感じで、その遊びが仕事になって、
仕事が猛烈に多い時や、締め切りに追われているとき以外は
やりたいことをどんどん実行して行って、
遊びながらお金をもらっている感じです。

子どものときは、おもちゃなんかなくても、
友達同士で色々想像力を膨らませて、
次から次へと新しい遊びを作り出して、遊んでいましたよね。

それで遊びながら自然と身に付けて行った技術とか、あると思います。

川遊びをしていたら、泳ぎが得意になった、
魚取りが上手になった、みたいな。

遊びながら身に付ける。
英語も本来そうあるべきなのです。

あなたが好きことは何ですか？それはなぜですか？

あなたが興味のあることは何ですか？それはなぜですか？

あなたの得意な事は何ですか？なぜ得意なのですか？

それを英語で言えますか？

あなたがよく使う単語が意外と英語でなんて言ったらいいか知らなかったり
しませんか？

それを調べてみて下さい。
関連することも、どんどん英語で知りたくなっていくはずですよ。

あなたの好きな事だから、興味のあることだから、得意な事だから、
どんどん知りたくなりませんか？

こんな感じで、いいんですよ。

分厚いテキストを終わらせなくても、興味のない長文を読まなくても、
自分のやりたいことだけ、英語で広げて行ったらいいんですよ。

そうしたら、あなたの好きな事で
日本にはまだ入ってきていない情報を見つけられるかもしれませんし、
その情報がアイディアの種になるかもしれません。

ね？たのしいでしょう？

英語の勉強は、こんな風楽しくないといけないんですよ。

私は勉強の仕方ではなく、
英語の楽しみ方をどんどんお伝えしていきます。

受け身では無くて、脳みそに汗をかいてもらいます。
イングリッシュ・ハイを経験してみませんか？

2. 常識を打ち破れ！

他の章でも話しましたが、日本人が会話のキャッチボールを続けられないのは、喋る内容を持っていないから。

あなた自身と、あなたの国・文化について徹底的に話をさせられます。

英語で会話をする時、日本についての知識が皆無の方もいます。

例えば、私たちもカナダの首都、名物の食べ物...
ぱっと出てこないですよね？

それと同じで、日本についての知識が無い人と会話をするときは、自分が誰で、どんな文化背景で、どのような習慣を持っていて...
と、いうのを説明しないと会話が成立しません。

他の国の人たちは、即座に答えられる人が多いのに、
なぜ日本人ができないのか。

それは、私たち日本人が、

自分を愛すること、

自分の国や文化を愛すること

を、教えられていないからです。

あなたが何が好きなのか、

本当は何がしたいのか、

何があなたの夢なのか...

小さいころは自由に思い描いていた夢も、

進路、就職、と若い時から徹底的に、他の人と同じレールに収まることをよしとする社会では、
年齢と共に自然と語ることがはばかられていってしまうのです。

教育の中で全ては「正解」と「不正解」の二つの選択肢しか与えられず、
全く多様性を失ってしまったのが、私たち日本人なんです。

既存の枠の中で、既存の選択肢から選んで、既存の価値観で人生を生きる。

そうやって、日本人は自然と話す内容を失ってってしまったのです。

英語を学問ではなく、「コミュニケーション」のために使うのであれば、
大きく言うと、この日本の習慣とか、既存のものであるとか、
固定観念であるとか、

その全てに疑問を呈して、
それを打ち破っていくエネルギーを持つことが必要なのです。

日本の文化や習慣を否定しろと言っているわけではありません。

私たちが暗黙の了解で立っている「日本社会の常識」が
世界で通用するわけでは無い、
ということを理解しておいてほしいのです。

どの考え方が正しい、何が正解、これが当たり前、
と言ったことを一度捨て去って下さい。

そのうえで英語に向き合わないと、たとえ喋れるようになっても、
色々なところでつまづきます。

全く価値観の違う人たちと会話する機会が無限に増えるわけですから。

自分たちが絶対に正しいという価値観を捨てないと、
新しいものも吸収できません。

新しい世界があるんだということ、

そしてその人たちに自分のことを、自分の考えていることを
自分のバックグラウンドをより正確に伝えること
何が正しいとか、何が間違えているとか、人と違うかも、とかを考えずに、
自分の考えを素直に伝えること。

もちろん、全てを受け入れる必要はないです。
自分が受け入れられないこと、自分が賛同できないことにはノーと言う権利も
あるし、
そういう人やことがらからはそっと距離を取ればいいのです。

まず、ネット記事でも雑誌でも、ニュースでも映画でも、小説でも、
何でもいいです。

何も考えずに読むのではなくて、

好き・嫌い
面白い・面白くない

を、まず考える習慣をつけてください。

そして、それが
好き・嫌い、
面白い・面白くない
そして、その理由をしっかりと説明できるように
ノートに書き留めておいてください。

目的は自分の考え方の傾向を掴むためです。

自分をよく知ると、意見を問われてもすぐに反応することができます。

そして、例えば事件のニュースでは、
加害者の気持ち、被害者の気持ち、
どうしてその事件が起こってしまったのか、などを考えてみて下さい。

相手の気持ちを想像すると言うのは非常に重要なトレーニングです。

他人とのコントラストがしっかりとした自分像を作っていきますし、
日常生活でも、相手の気持ちを想像する、と言うことは必要です。

正解か不正解か、常識を意識しすぎずに発言すること、
それが大切なんです。

予想できるような答えを持たない、個性的な人の評価は高いのです。

しかし、常識を打ち破ることを意図的にやっていると、
新しい世界が見えてきます。

色々な要素が多ければ多いほど人生は豊かになります。

実は、そうやって自分の内面を開放すると、自己肯定感が高くなります。

私も、生きにくかった思春期のときに外国語に出会って、
新しい価値観がどんどん自分に流れ込んできて、
とても楽になりました。

現状で行き詰っている人も、新しいフィールドに出てみると、
視野が広がります。

英語を勉強だにとらえてしまわずに、
自分のフィールドを広げる娯楽だと思おうと、

侮れない色々な効果が生まれてきます。

3. みっともないから必死になるな！

英語を「勉強」することに深刻になりすぎるがゆえに
ストイックに勉強し続けるがゆえに燃え尽きてしまう人がいます。

もしくは、真面目に勉強し続けなければいけないのにそれができず、
プレッシャーに押しつぶされて、余計に焦って、
英語どころか自分まで嫌いになってしまう人もいます。

その人のレベルや、目的によって勉強の方法やアプローチが違うので、
個別カウンセリングを受けていただくのが一番効果的なのですが、
それよりなにより、楽しみながら英語に向き合わないと、
つまらないですよ？

TOEIC頻出単語集に出る単語なんて、無理に覚えなくてもいいんです。
必要が無いのであれば、無理にTOEICなんて受ける必要も無いんです。

しんどいのに、無理してまで試験のためだけに勉強しなくてもいいんです。

テストの点数なんて、結果論なのです。

英語が好きで、自分が好きなものを調べたり、読んだり、
喋ったり、書いたりしているうちに
あれ？と、自分の実力はいかほどのものか気になって
暇つぶしにふと受けてみたら何点でした、みたいなカンジでいいんです。

英検とか、TOEICとか良い成績が取れなくて
泣きながら相談に来る人がいますが
それは目の前の点数だけを見て一喜一憂しているからですよ？

そもそもあなたが検定を受けようと思った理由を思い出してください。

「一日勉強しなかったら一週間分戻る。」

とか、よく言われますが、そんなこというヤツは信用しないでください！

私なんて年単位で英語喋らない時期がありましたが、
すぐに以前と全く変わらず喋れたもんね！

丸々一週間勉強しないことを避ける、くらいの姿勢でいいと思います。

自分の気分が乗るときにだけ、自分の好きな事を何時間もまとめて勉強する。
それだけでいいんです。

だって、自分が他人と会話をするのって、
自分のこと、自分の好きな事の話をするのが圧倒的に多いので、
あなたにとって必要なボキャブラリーは
あなたの好きな事についてのボキャブラリーであって
検定頻出単語ではないのです。

あなたが喋る必要に駆られるもの
それがあなたにとって必要な語彙なんです。

大人になってからの勉強は、楽しむためのものです。

無理に詳しくない経理関連の英語とか、政治のこととか、
喋れなくたってあなたは困らないんです。

だから、娯楽だと割り切って必死にならないこと。
それが何よりもの上達の近道、続ける近道です。

続けるためには精神論ではなくて、
Facebookを上手に使って、
情報がどんどん飛び込んでくる状態を作ればいいだけなんです。

英語はコミュニケーションツール。

必死になりすぎて、英語が嫌になりそうなら、原点に帰ってみてください。

英語の勉強をしないのが不安ならば、
英語を勉強し始めた時に大好きだった映画でも観てください。

聞き取れるフレーズが増えていて、新しい発見があると思います。

そして、その聞き取れたセリフを登場人物になりきって、
自分のものになるまで繰り返してください。

今日はそれだけ、でもいいんです。

とにかく楽しめないと、続かないし頭に入らないので、
とにかく気軽に取り組んでください。

ちなみに私は、飽きっぽいし、根性無いし、
努力嫌いな、社会不適合者ですが...笑

そんな私でもなぜ外国語をたくさん習得できたのか？

それは、私にとって、語学がただの勉強ではなかったから。

何より、外国語が好きだから。

外国語が私に見せてくれる、言葉のその向こうの私の知らない世界を見ることが
できるのが
たまらなく好きだから。

あなたにも、その知的興奮を味わってほしいから、
そのツールとしての外国語を楽しく習得してほしいから、
私はせっせとこの本を書いているのです。

必死にならないで。

そして、真剣に勉強する人は、みんな通る道だから。

力を抜くこと、遊ぶことは
頑張ることと同じ以上に大事な事です。

何事もね。

4. 良い人たれ！

語学を勉強する人は総じてプライドが高い人が多いです。
ストイックに勉強する真面目な人が多いからかもしれません。

大手の英会話学校に行っても
先輩講師からのマウンティング行為や嫌がらせ、

凄かったです。

そして、講師が後輩教師や生徒を教育と言う名目でディスることや、
生徒同士の無駄な張り合い...

たくさん見てきましたし、たくさん経験してきました。

有名大手英会話学校で講師をしていた時は、
全く実力の無い、キャリアだけ長い年配の教育系の先生に
散々いじめられました。

結局大喧嘩して英会話学校は秒で辞めたのですが...

結局のところ、それは、彼女の思うツボだったんですよね。

自分よりできる人が入って来たら、自分の仕事が無くなる。
でも、その人がすぐに辞めてしまえば、
彼女の仕事は安泰なのです。

逆に言うと、そんなクオリティーの講師がわんさかいました。

通訳学校に入っている時でも、
ライバル心むき出しで、凄く感じの悪い人とか、

通訳の仕事で他の通訳に靴をトイレのごみ箱に捨てる人とか、

まあ、語学関係は総じて感じの悪い人が多い多い！
(勿論、ものすごく優しくて良い人たちもいますよ！)

それにしても、嫌がらせて、まったくもって不毛ですよ？

相手の足を引っ張って、あなたの語彙が増えるわけじゃない。
相手を批判してメンタル的に潰して、
あなたの文法知識が増えるわけじゃない。

語学は自分との戦いの部分もあるから、
自分よりも未熟な人を見たら腹が立つ気持ちはわかります。
私もそうでした。

でも、あなたにもその時代はあったはずですよ。
昔の自分を見ているようで腹が立つのかもしれないけれど、

その人は、そこにまだ気づいていない段階なのかもしれないし、
気付いていても乗り越えられなくてもがいているのかもしれないし。

どの業界でもそうだし、ひいては人として同じことが言えます。

どれだけ技術があっても、どれだけ知識が豊富であっても、
気遣いのできない人、無神経な人、意地悪な人は嫌われる。

そして、いくら自分が隠しているつもりであっても、
あなたの本性はすぐにばれてしまう。

それは、外国人にも同じで、本性がすぐばれてしまう。
外国語はコミュニケーションなのだから、

たとえ発音が多少下手でも、
文法がちょっと弱くても
いい人であることが一番大切。

私のライフワークでもあるのだけれど、
みんなのライフワークとしても考えてほしいです。

外国語を使って、人に何ができるか。
外国語を使って、どうやって社会をよくできるか。

これを考えて下さい。

私は世界を変える力を持っている人の世界進出を手伝う
国際ビジネスプロモーターという仕事をしていますが、

それは世の中を素敵なものや、ポジティブなもの、
遊び心や、新しい切り口のもので満たしたら、
世界が平和になるような気がしているからで、

仕事であると同時に、私のできる世界レベルの社会貢献なんです。

そして、仕事もお金も
良い人のところに集まってくる。

誰だって、意地悪な人と仕事するより
優しい良い人と仕事をするほうが好きだから。

実際通訳の仕事でも、
めちゃくちゃできる怖い人よりも、
多少下手でも、
上手に雰囲気を作れる人なんかは重宝されていたりします。

私も気がきかなかったり、無神経だったりするので、
反省することも多々あるのですが、
できるかぎり、相手に優しくいよう、相手の気持ちを考えようと心がけていま
す。

自己満足のためだけに外国語の勉強はやめませんか？
他人から賢いな、えらいな、と思われたいのならば
外国語を喋れるだけじゃ不十分なんです。
喋れる人なんて、ものすごくたくさんいるんだから。

尊敬されたいのであれば、みんなのために外国語を使ってみてください。

なにか、発信してみてください。アウトプットの練習にもなりますし。
2章でも書いたとおり、完璧じゃなくたっていいんです。

発信する場所がなかったり、恥ずかしかったりするのであれば
オンラインサロンで練習してからでもいいんです。

みんなで何ができるか考えて動ける場所を提供します。
一度プライドを捨てて、徹底的に良い人になってみてください。

繰り返しますが、外国語はコミュニケーションツール。
独りよがりでは上達できません。

いろんな人に触れながら磨かれていくのです。

あとがき

英語は立身出世のツールだけではなく、
人生を限りなく豊かにしてくれます。

それは、あなたの世界が広がるからです。

今まで知らなかった新しいことを知り、
今まで何度も聞いたことのある歌の歌詞に心を震わせて、
映画の生のセリフにグッときて、
自分が好きな日本のものを世界に紹介して...
あなたの可能性や、あなたの人生の幅が大きく広がるのです。

仕事として、資格としての英語ではなく、
人生を豊かにするために英語を勉強してみませんか？

それが結果として、
あなたが時代の波に乗り、変化に対応し、
これから変わっていく世界で自由に生き抜くための武器になるのです。

英語を始めたいなと思っている人も、
英語がなかなか上達しなくて悩んでいる人も、
英語を仕事にしたいなと思っている人も、
趣味で英語を勉強しているけどそこから先に進み方が分からない人も
大丈夫。

私が既にそのいばらの道を歩いて、道を作っておきました。

だから、あなたはその舗装した道を歩くだけでよいのです。

ぜひ、[メルマガに登録](#)して下さい。

そして、Facebookやブログにも遊びに来てください。

あなたの人生が英語を通して、今よりももっと豊かになりますように。

著者プロフィール

佐伯 麻衣子

1982年生まれ

兵庫県出身

通訳・翻訳家

国際ビジネスプロモーター

娘1人を持つシングルマザー

日本語・英語・スペイン語・フランス語・ポルトガル語の5ヶ国を話すマルチリンガル。好きなアーティストの歌詞や、作家の作品、関連書物を翻訳ではなく原語で読みたいという思いから語学に興味を持つ。出版社勤務中、休暇を利用しIMF・世界銀行会議へ通訳スタッフとして参加。その経験から、学生時代からの通訳への夢を捨て切れず独立。独立後4年間でヨーロッパ・南北アメリカ大陸・アフリカなど世界各国を舞台に活躍。スペイン大使館、メキシコ大使館、カタルーニャ大使館、入国管理局、警察から指名が入るマルチリンガル通訳として活躍する傍ら、現在は多くの著名人の海外進出プロデュースを手がける。

「新しい時代に沿った勉強法で語学を習得し、日本にいたままでも世界進出できるスキルを身につけた人を少しでも増やしたい。そして自分たちで仕事を生み出し、マネタイズ出来るノウハウを共有し、一緒にビジネスができるレベルのプロ集団を作りたい」という思いから現在は通訳・翻訳家の枠を超え、語学を武器に様々なフィールドで活躍する女性の育成を行う。

佐伯 麻衣子 オフィシャルホームページ

<http://maikosaeki.com/>

佐伯 麻衣子 メールマガジン

<https://contena.biz/p/r/HaRCW2Tt>

Facebookでいいね！を押しておくためになるおススメページ

■ニュース

国際情勢はよく話題に上るので、日本についてのニュースはエゴサーチしておく勉強になります。

[BBC News](#)

[CNN International](#)

[Voice of America-VOA](#)

[CBC News](#)

■文化・旅行

写真も記事もとてもクオリティーが高いのでおススメです！

[National Geographic Magazine](#)

[National Geographic Travel](#)

■料理

料理が好きな方に簡単レシピ紹介してくれるページ。

[Tastemade](#)

■動物

[Cesar Millan](#) 世界中でめちゃくちゃ有名なドッグトレーナー。名言も多い。

[Animal Planet](#)

[The Pet Collective](#)

■ファッション

読みやすい記事が多いので女性におススメ。

[Elle Magazine](#)

[Vogue](#)

[GLAMOUR](#)

[The Blonde Salad by Chiara Ferragni](#)→イタリア人人気ブロガーのページ

■自己啓発

[SUCCESS Magazine](#)

